

## 第1回呼吸ケア研修会を開催しました

平成26年11月16日（日）の午後1時から、チサンホテル＆コンファレンスセンター新潟において第1回呼吸ケア研修会を開催しました。

当日は、日曜日の午後にも関わらず、県内の医療機関の医師、看護師、薬剤師、リハビリ療法士などの実際に呼吸ケアに関わっている医療関係者、学生など、72名もの方のご参加をいただきました。

第一部では、4人の講師の方にご講演をいただきました。  
西新潟中央病院呼吸器内科の大平徹郎先生からは、「誤嚥性肺炎とは」と題し、誤嚥性肺炎の疫学、病因、病態、治療法など、誤嚥性肺炎についての全般についてお話しいただきました。



長岡赤十字病院言語聴覚士の伊原武志先生からは、「在宅高齢者の誤嚥性肺炎に対するリハビリテーション」と題し、嚥下リハの手順、栄養状態の重要性、病因としてサルコペニアがあること、また、嚥下訓練の実際の実例を動画を交えてわかりやすくご教示いただきました。



すなやま訪問看護ステーション看護師の若杉トヨ子先生からは、「在宅場面での誤嚥性肺炎ケア」と題して、在宅における誤嚥性肺炎看護のポイント、介護保険で受けることが可能な予防ケアについてお話いただきました。また、実際に介入により摂食嚥下機能の改善がみられた事例について、動画を交えてご呈示いただきました。

当センタースタッフ、歯科衛生士の田中恵子からは、「実技・誤嚥性肺炎での口腔ケア」と題し、誤嚥性肺炎予防のために必要な口腔ケア手技について、実際にカメラでプロジェクターに写しながら、模擬患者に対して口腔ケア手技を実施する様子を実演しました。



第二部のワークショップでは、「誤嚥性肺炎で入院し、これから在宅に帰る方をどう支えるか？」をテーマに、参加者を9班に分けて事例検討を行いました。





事例検討では、設問1：栄養摂取法は、経口か、経管か、どのような食形態で摂るかについて、設問2：在宅ではどのような介護サービスを受けることを目指すかについて、各班ごとに話し合いながら対応策を検討し、ケアプランを作成しました。最後に持ち時間5分でプレゼンテーションを行いました。  
各班とも非常に活発な討論で対応策を検討し、プレゼンテーションも盛り上がりました。

この研修会で呼吸ケアについて学んだことを、明日からの診療・ケアに役立てていただければ幸いです。

